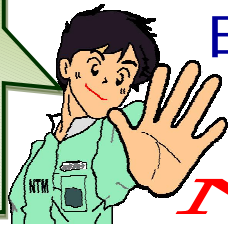


私たちは許さない!
日航の子会社つぶし



日東整争議を 勝たせる会 NEWS

No.002 2012.5.25
発行:日東整争議を勝たせる会
連絡先:航空労組連絡会事務局
〒144-0034 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL03-3742-3251 FAX03-5737-7819

第1回裁判原告泉さん堂々と意見陳述

裁判所前宣伝・傍聴・報告集会に100名の参加

JALによる子会社つぶし・全員解雇と闘う日東整争議団が、3月14日に不当解雇撤回・雇用確保を求め日航など3社を相手取り東京地裁に提訴(民事36部係属)、その第1回裁判が5月14日、午後3時から631号法廷で行われました。原告泉さんが「日航の一員として誇りをもって働いてきたことや解雇された心情を切々と訴え、解雇を撤回し雇用を継続して欲しい」と意見陳述しました。代理人長尾弁護士がパワーポイントを使い、日東整の設立目的、JAL/JAS統合と整備会社再編の流れ、日航の経営支配の実態などを陳述しました。裁判所前の宣伝・傍聴・報告集会には全体で100名の支援者が参加しました。

日航の責任で解雇撤回をさせよう!

主催者挨拶に立った航空連坂井副議長は、この裁判で、日東整の整備作業を引き継いだJALECに泉さん、佐藤さんの雇用を引き継がせる日航の利益第一主義、労働者敵視の政策を改めさせ、安全・安心のJALを築く子会社と労働者使い捨ての日航、大企業の横暴を許さない、と闘いを勝利させる意義を強調。

今日発表される日航の2011年度決算は、連結営業利益が2000億円規模になり、2年連続で最高益を更新すると報道されている。日航本体では乗員・客乗の解雇が強行され、日東整は会社ごとつぶされ、多くの労働者の働く権利と生活が奪われた。また、日東整(株)は自らの解決を放棄し、4月26日に破産手続き開始を申請し、5月9日東京地裁により決定、破産管財人が選任された。日東整争議の闘いはこれから本番。最近、不当判決を出している東京地裁を変える闘いでもあるとし、運動を広げ、裁判勝利を目指し闘うと決意表明をしました。

支援の皆さんから力強い挨拶

<東京争議団共闘会議 斉藤副議長>

国鉄民営化以降の流れには、会社つぶし、組合つぶしがあると指摘し、JALの判決もこの流れとみている。日東整の不当解雇撤回含め全国の運動で跳ね返そう。

<大田区労協 堀井副議長>

区内の労働組合、64組合/14000名の区労協は日東航空整備の仲間の裁判を勝利させるために闘う。

<大田労連 広瀬事務局次長>

「日航グループの会社に雇用を確保させよ」との要求が実現するよう大田労連は共に闘いぬいていく。

<JGS東京労組 安藤書記長>

日航内グループ各社も同じようにやられたが、日東整だけが会社をつぶされた。子会社統合の中でも日東整だけが外された、こんなことは許せない。

<日航ユニオン 諏訪書記長>

日航の職場では、事故やトラブルが相次ぎ、安全アドバイザーグループが1年前に「合理化が行き過ぎていないか点検せよ」と指摘したことが現れている。日航は子会社つぶし・全員解雇を真摯に反省し、利益優先の政策を改め、安全優先の政策を進めるべきだ。

<航空一般労組スカイネットワーク 松尾委員長>

JALは従業員の首を切るための金は出すが、雇用を守ることはしない。こんな日航は許さず、泉さん、佐藤さん解雇を撤回させよう。

<猪又労災認定裁判勝利させる会 藤田事務局長>

日本全体に、健康も雇用も確保されない事態がある。航空では夜勤の改善、仮眠時間の取得などを実現したが、全て崩れ去り航空の安全は脅かされている。争議を勝利させ、安全を守るため、ともに頑張ろう。

<JAL不当解雇撤回裁判乗員原告団 山口団長>

日航の東京地裁判決は極めて不当な判決だ。「年令と安全の相関関係はない」などと、労働者の主張は聞かず、日本の雇用破壊の手助けをしている。日航の行った整理解雇は日航から組合役員を排除することが目的だが、その意向でこの判決を作ったとみている。我々は裁判のあり方も徹底して糾弾し、日東整争議団と、共に頑張り勝利させていく。と皆さんより連帯の挨拶と決意表明がありました。

安全と雇用を求め勝つまで闘う

30年間一生懸命仕事をやり、明るく仲良くやってきた職場が、JJ統合後、日航の労務政策が強まり分断された。組合は変質。拳句に会社ごとつぶされ全員解雇。こんな日航の横暴は許さない。勝つまで頑張ります。



地元の大田の皆さんはじめ支援が広がって裁判闘争まで出来ることになった。雇用の確保と航空の安全、労働者の権利を求め、最後まで闘う決意でいますので皆さんのご支援をお願いします。



泉さん堂々と意見陳述（陳述全文）

2011年1月21日に突然の事業終了、会社解散の発表があり、日東航空整備の全従業員の雇用が奪われました。私は飛行機の整備を担う会社を本当につぶしていいのか、航空の安全は大丈夫かと強く感じました。

私は1991年4月1日に日東航空整備に入社し、2011年3月31日に42歳で解雇されるまで、20年間にわたりJALの飛行機を整備してきました。

私は、高校生のときから航空の仕事に憧れ夢を見て、航空専門学校に進学しました。そして日東整に入社できたことは、とても大きな喜びでした。

日東整に入社して直ぐに、6ヶ月間の新入社員教育がありました。初めの2ヶ月間は、当時の親会社であったJASの整備訓練所で教育訓練を行いました。そのときJASの整備訓練所の所長で、後に日東整の常務となった山田教嗣所長が「君たち日東整は会社の名前こそ違いますが、JASの一員として整備に従事してください。」と言いました。私は解雇されるまで、JASそしてJALの整備部門の一員であるという誇りを持って働いてきました。それは日東整で働く人、全てが同じだと思います。

私は日東整での勤続20年のうち18年間、客室整備の仕事をしてきました。客室整備の仕事は、客席、非常用装備品、調理室、トイレの整備で、窓の交換も行いました。

その中で一番大変だった仕事は、2000年にJASが保有していた飛行機、マクダネルダグラス社製のMD81型とMD87型、全33機の防音断熱材を交換する作業です。これは日東整が初めて行う作業であり、取り外した部品を保管する大型の棚の製作など、大掛かりな準備を行いました。

この整備作業は5年間にわたる計画でしたが、計画よりも早く終了し、この技術力がJALの整備本部から表彰されました。

また、2008年には、JAL整備本部の芳賀本部長が年頭に日東整に来て、「JALの一員である日東整の技術は、JALには無くてはならないものです。」と挨拶しました。

JALとJASの統合により、日東整の将来不安がありました。JALから表彰されたことや、芳賀本部長の挨拶で、私たちはいずれJALの整備関連会社に吸収され、JAL整備部門の一員になると感じていました。それなのに、JALが日東整の全従業員の雇用を奪ったことは、私たちの期待を裏切ることであり、絶対に許せ

ません。

日東整が事業終了を発表した日、かみさんに「大変なことになった。」と伝えました。かみさんは「これからどうするの?」と、今後の仕事や生活などいろんな意味を込めた一言でした。長女は高校受験の真最中で、今年の春は長男が高校受験でした。二人の子供は、それぞれ将来に目標を持ち大学進学を希望していますが、公立高校に入ってがんばると言ってくれました。

2009年末に一時金がゼロになってから、日々の衣食住を切り詰めた生活になり、月に一度、近所のファミリーレストランへの外食と、年に一度の夏休みの家族旅行ができなくなりました。子供の誕生日プレゼントも欲しい物ではなく、生活に必要なものに切り替え、家族に我慢をさせてきました。そんな苦しい中で雇用まで奪われてしまい、家族ともに生活不安に陥りました。

私たちには35年払いの多額の住宅ローンがあり、まだ10年しか払っていません。私は今、スーパーマーケットのパートタイマーで働いています。妻はパートタイマーで働いていましたが、勤務時間をフルタイムに変更して、家計を支えています。

私がJALに雇用確保をもとめて活動していることに、かみさんは不安を感じているようでしたが、「やめてほしい」とは言いませんでした。私は、JALが私の家族を生活不安に陥らせたことに、大きな怒りでいっぱいです。

裁判所において、私の家族が安心して生活するために、私がJAL E Cで飛行機の整備という仕事で働けるよう判断をお願いします。

日東整不当解雇撤回裁判 第1回裁判概要

東京地裁 民事36部係属 平成24年(ワ)第7346号
631号法廷にて実施 <敬称略>

時間：15:00～15:25

裁判官：裁判長=竹田光広 右陪席=光岡弘志
左陪席=三島聖子

原告側：日東整争議団 泉 聖二、佐藤 二郎
代理人：船尾 徹、安原 幸彦、長尾 詩子
小林 大晋、黒沢 有紀子 弁護士5名

被告側：代理人：八代 徹也、木野 綾子 弁護士2名

15:00開廷

* 提出されている陳述及び陳述追加の有無などの確認

* 原告側陳述 泉原告の意見陳述
長尾弁護士による代理人意見陳述

* 次回裁判期日の確認など

15:25閉廷

* 傍聴者：42席中、原告側34人、被告側8人(桜島日東整社長、日航労務関係者など)

今後の取り組み/裁判・宣伝行動

次回裁判は7月19日11時から！
705法廷（前後に宣伝・集会アリ）

羽田空港 6月8日(金), 22日(金), 7月13日(金) 17:00～

有楽町 JAL プラザ前 6月11日(月) 12:00～13:00

成田空港 6月28日(木) 15:00～16:30

日航本社前 7月12日(木) 08:00～09:00

以上